

平成30年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 八尾市	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 和島祐輔 都市整備部下水道経営企画課 齊木新吾 都市整備部下水道整備課 TEL : 072-924-3862 FAX : 072-922-3587 E-mail : gkeiei@city.yao.osaka.jp
代表者氏名 八尾市長 田中 誠太	

部門名 行政部門	事例名 下水道のPR動画が、映画祭にて入選！！
-------------	----------------------------

事例の概要（適宜、写真、図、記事の画像等を入力して下さい）



毎年、夏休み特別企画として、市内の大型商業施設の協力を得て、下水道のイベントを開催しています。マジックやプラネタリウム等、いろいろな集客の工夫を凝らした結果、昨年度は市民をはじめ多くの方にお越しいただきました。その様子を記録した動画を編集し、PRに繋げようという案が職員から出たタイミングで、「やお80"映画祭」のを知り、それなら映画に挑戦してみよう、となりました。

応募した部門は、八尾の特産物や八尾市の魅力が引き出された内容であることが条件の「やお映画部門」です。

発案から1か月の短い期間で、出前講座を委託している民間事業者との二人三脚によりVFXを駆使した「80秒の映画」を制作しました。作品中には、八尾市のデザインマンホールが登場し、下水道の正しい使い方を、ファンタジーの世界で表現した作品となっています。



映画祭の入選の結果、作品上映会が映画館で行なわれ、映画祭のパンフレットやHPにも作品が掲載されています。

商業施設の協力と、委託民間事業者・映画監督、そして職員の下水道に対する熱い思いが、一つになり、出来上がった作品です。

（やお80"映画祭2017 <http://yao80.jp/news/983>）



エントリー事例の特徴（施策等そのものの特徴ではなく、施策等を発信する広報戦略及びその効果が優れていると考えている点を明記願います）

映画祭に出展しただけでは、広報のネタとしてはそれ程ではなかったが、八尾市民や、全国から応募のある一般の映画祭で入選したことが、下水道の広報のツールとなりました。下水道の広報ではありますが、他部門へ挑戦し評価を受けたことが、下水道のPRと、八尾市のPR、また映画祭のPRにも繋がりを、GKPの応募まで繋がりました。

付属資料の提出	あり ・ なし （どちらかに○）
---------	------------------